

## 施策 153 豊かな自然環境の保全と活用

【主担当部局：農林水産部】

### 県民の皆さんとめざす姿

県民の皆さんやNPO、事業者などさまざまな主体が、生物多様性をはじめとする自然環境を自主的に保全・再生する社会が形成され、三重県の豊かな自然が継承されています。また、県民の皆さんが、自然とのふれあいや自然資源の持続可能な活用を通じて、自然からの恩恵を享受しています。

### 平成31年度末での到達目標

生物多様性をはじめとする自然環境の保全活動のサポート機能を充実することで、県民の皆さんや事業者、NPO等による生態系や希少野生動植物、里地・里山・里海の自主的な保全活動が活発に行われています。また、こうした取組をとおして、県民の皆さんが自然とのふれあいや地域への愛着を深めながら暮らせる自然環境が維持保全されています。

県民指標						
目標項目	27年度	28年度		29年度	30年度	31年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
自然環境の保全活動団体数	74団体 (26年度)					84団体
目標項目の説明	絶滅のおそれのある野生動植物種の保全活動及び里地・里山・里海等の保全活動を継続して実施している実施団体数の合計					
28年度目標値の考え方						

活動指標							
基本事業	目標項目	27年度	28年度		29年度	30年度	31年度
		現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
15301 貴重な生態系と生物多様性の保全 (農林水産部)	希少野生動植物種の保全活動や貴重な生態系の維持回復活動の実施率	35.0% (26年度)					100%
15302 自然とのふれあいの促進 (農林水産部)	自然とのふれあい体験の満足度	(調査中)					(検討中)

## 現状と課題

- ① NPO等によって自主的に行われている生物多様性の保全活動は広がりを見せており、こうした保全活動が持続的に展開されることが重要です。また、県内の希少野生動植物の生息・生育状況を継続的に調査し、県民の皆さんと情報を共有することで、これまで以上に自発的な保全活動を促進する必要があります。
- ② 県内の野生動植物がおかれている環境は、依然厳しい状況から、希少野生動植物の生息・生育環境の保全のためには、開発などに伴う自然環境への影響を軽減していく必要があります。
- ③ 県内各地で、さまざまな活動団体によるエコツーリズムの取組が行われています。こうした取組を一層広め、定着させるとともに、自然とのふれあいの場となる自然公園施設の整備に取り組む必要があります。

## 平成 28 年度の要求状況

- ① 生物多様性の保全に向け、県民の皆さんの参画を得ながら、県内の希少野生動植物の現状把握に努めるとともに、特に重要な地域における希少野生動植物の生息・生育状況調査及び希少野生動植物種の指定を進めます。平成 28 年度は特に地域で保護の機運が高まっている昆虫や魚類について希少野生動植物種の指定に向けた調査を行います。また、NPO等が行う希少野生動植物の保全活動、里地・里山・里海や河川などにおける自然環境保全活動を、専門知識や必要な情報の提供などを通じて支援します。
- ② 県民の皆さんに、身近な自然環境や生物多様性の状況、それらのもたらすさまざまな恩恵などを発信し、自然環境や生物多様性を保全していくことの重要性を啓発していきます。特に、こどもたちの自然への関心を高め、自然環境を支える将来の担い手となるきっかけづくりのため、こどもたちが参加する生物多様性にかかる観察会を行うほか、外来生物対策について普及啓発を促進します。
- ③ 自然公園や三重県自然環境保全地域等を適正に管理し、優れた自然環境の保全や生態系の維持回復を目指します。特に香肌県立自然公園や鈴鹿国定公園、祓川自然環境保全地域では、生態系維持回復事業計画に基づき、地元住民等と協力しながら、貴重な生態系の維持・回復に取り組めます。また、事業者等による開発に際しては、自然環境の保全や希少野生動植物の保護に向けた助言等を行います。
- ④ 県民の皆さんに自然とのふれあいの場を提供するため、災害で被災した自然公園施設等の整備を進めるとともに、自然公園施設や三重県民の森、三重県上野森林公園など県民が自然とふれあう拠点となる施設について、維持管理を委託している市町等や指定管理者と連携し、魅力ある自然体験プログラムの実施や情報発信などを行います。また、平成 28 年の伊勢志摩国立公園指定 70 周年の記念事業である「全国エコツーリズム大会」の開催等を通じて民間活動団体等が進める自然公園等が持つ魅力を生かしたエコツーリズムの取組を促進します。

## 主な事業

- ① 希少生物保全事業【基本事業名：15301 貴重な生態系と生物多様性の保全】

予算額：(27) 701千円 → (28) 642千円

事業概要：人と自然が共生できる地域環境をつくるため、特に重要な希少野生動植物の生息・生育状況調査及び県指定希少野生動植物種の指定を進めるとともに、盗掘防止パトロールや保全活動を実施するほか、外来生物対策について普及啓発を促進します。また、三重県生物多様性保全検討委員会の開催や、三重県生物多様性保全アドバイザーの派遣により、公共事業の開発をチェックし、生物多様性を確保します。

②野生生物保護事業【基本事業名：15301 貴重な生態系と生物多様性の保全】

予算額：(27) 2,854千円 → (28) 2,406千円

事業概要：多様な自然環境の保全・野生生物の保護にかかる普及啓発および傷病鳥獣の対策や子どもたちが参加する生物多様性にかかる観察会等を行います。また、貴重な自然環境を保全するため、自然環境保全指導員を配置し、巡視活動や情報収集を行います。

③自然環境保全対策事業【基本事業名：15301 貴重な生態系と生物多様性の保全】

予算額：(27) 762千円 → (28) 455千円

事業概要：優れた自然の風景地を有する区域を将来にわたって保護するため、県内の国定公園及び県立自然公園の適正な保全等を行います。また、自然公園等において生態系の維持や回復が必要な地域の調査や対策を関係者と協力して実施し、優れた生態系の維持・回復を図ります。

④自然公園利用促進事業【基本事業名：15302 自然とのふれあいの促進】

予算額：(27) 24,185千円 → (28) 22,613千円

事業概要：県民の自然とのふれあいを促進するため、東海及び近畿自然歩道や登茂山園地、大杉谷登山歩道など自然公園施設等の適正な維持管理を行います。

⑤森林公園利用促進事業【基本事業名：15302 自然とのふれあいの促進】

予算額：(27) 79,876千円 → (28) 50,850千円

事業概要：森林環境教育や自然とのふれあいの拠点施設として、三重県民の森など、森林公園の適切な維持管理を進めるとともに、利用者のニーズにあわせたイベント等を開催し、利用増進を図ります。

⑥伊勢志摩国立公園指定70周年記念事業【基本事業名：15302 自然とのふれあいの促進】

予算額：(27) 42,029千円 → (28) 10,000千円

事業概要：平成28年に伊勢志摩国立公園指定70周年を迎える伊勢志摩地域において、「全国エコツアーリズム大会」の開催や国内外への情報発信等に取り組み、国立公園が誇る美しい自然や豊かな伝統・文化を資源としたエコツアーリズムの取組を促進します。